

令和6年度
内閣府
特命担当大臣表彰
優良賞
兵庫県推薦

公益財団法人兵庫県芸術文化協会 兵庫県立尼崎青少年創造劇場及び 兵庫県立ピッコロ劇団 (兵庫県尼崎市)

【団体概要】

➤ 昭和53年に劇場開館。「地域が芸術文化でつながり誰もが生きやすい社会をつくる」をミッションに掲げ、障害者が演劇公演を楽しめるような鑑賞サポートに力を入れている。

また、阪神・淡路大震災での演劇による被災地支援活動の経験を活かして、東日本大震災において被災地に寄り添った、息の長い活動を展開。

令和7年1月5日には「災害と演劇を考える」シンポジウムも開催予定。

さらに、増え続ける在留外国人の地域コミュニティ参加支援のため、演劇手法を用いたワークショップを地域の国際交流団体等と連携して行っている。



中学生演劇鑑賞体験事業 わくわくステージ
「森のなかの海賊船～こそあどの森の物語」
鑑賞サポート(字幕付き公演)(2023年5月)



阪神・淡路大震災
被災地激励支援活動
(1995年2月)

【 功績・功労 】

- 障害のある人たちが、障害のない人たちと同じように舞台を楽しめるための様々な工夫を当事者や専門家の意見に基づいて行っている。視覚に障害のある方へ舞台の状況や出演者の動きなどをピッコロ劇団員が音声で解説する音声ガイド、聴覚に障害のある方が目で音を感じ取ることができるような舞台字幕やポータブル字幕の作成、字幕のない公演では、台本を隣でめくるという合理的配慮の実施、バックステージ解説における手話通訳等、単なる情報保障のみならず、「想像保障」を目指して実施している。



(舞台手話通訳)



(ポータブル字幕)



(ピッコロ劇団員による音声ガイド)

- 在留外国人を対象としたワークショップ「にほんごであそぼう！」は、日本語を使ったゲームや表現活動を通して日本人と外国人がお互いに理解し合える機会となっている。また、助ける・助けられるという上下関係ではなく、お互いの人格や文化をリスペクトする工夫が随所にあり、増え続ける在留外国人の地域コミュニティ参加の手助けとなっている。さらに、近年ではワークショップを通じて、防災やゴミ出しルールなどについて学ぶ取組みも行っている。



身体で表現！
～みんな俳優になる～



やさしい日本語で
コミュニケーション



参加者同士で相談しながら
ゴミ箱に正しいゴミを入れて分別

(ワークショップ「にほんごであそぼう！」)